

2024年度（令和6年度）学校評価自己評価表

精華中学校区	校番 34	福山市立金江小学校
最終更新日		2024年（令和6年）4月1日

I 福山市

ミッション	福山に愛着と誇りを持ち、変化の激しい社会をたくましく生きる子どもを育てる。
ビジョン	「福山100NEN教育」の基本理念のもと、各中学校区・学校が「21世紀型“スキル&倫理観”」の育成に向けた特色ある教育課程を編成し、日々の授業を中心として評価・改善を進めながら、子どもたちの確かな学びを実現している。

II 中学校区

前年度学校関係者評価の主な内容	児童生徒の現状	育成する力 (21世紀型“スキル&倫理観”)	【知識・技能】【思考力・判断力・表現力】【主体的に学ぶ力】【自己形成力】
・児童生徒は人のため・学校のため・地域のためにできることを考え、活動を工夫している。	・興味をもったことを探究したり、思いを実現させようと主体的に行動したりする姿が増えている。	めざす子ども像 (義務教育修了時の姿)	・確かな学力を身につけ、自ら進路を切り開く子ども ・自己肯定感が高く、社会に貢献できる子ども
・小中9年の縦のつながりやかかわりを大切にした取組を継続していく。	・自分の考えを持ち、積極的に話したり書いたりするなど、自己表現力が育ってきている。	中学校区として統一した取組等	・「主体的な学び」の授業づくりに取り組み、学力の向上を図る。 ・「自己表現」「あいさつ」に取り組み、自己肯定感の向上を図る。 ・「自分で選び・決める活動」に取り組み、自己形成力の向上を図る。
・子どもたちが主体性を発揮できるように教職員はPDCAサイクルの視点をもってマネジメントしてほしい。	・人間関係の固定化やレジリエンスにややかけるところもある。		

III 自 校

ミッション		育成する力 (21世紀型“スキル&倫理観”)	主体的に学ぶ力	思考力・判断力・表現力	自己形成力	
地域に貢献する 自立した子どもの育成 ～「子ども主体の学び」を授業でも生活でも行事でも～						
学校教育目標		めざす 子ども像	1～4年	日常生活をよくするために、生活体験などの情報を生かし、自分なりの理由を付けて課題を解決している。	自分の考えを持ち、話したり書いたりして表現している。	思いやりの心を持ち、目標を達成するために、協力し合い、粘り強く努力している。
共に高まる たくましい子の育成			5・6年	日常生活や地域社会をよりよくするために、様々な情報の中から課題に応じた情報を選択し、根拠をもって解決している。	既習事項を活用して、自分の考えや意見を話す・書くなどで表現している。	誰に対しても思いやりの心を持ち、より高い目標を達成するために、相手の立場や考えを尊重しながら、粘り強く取り組み、やりぬいている。
現 状						
＜児童生徒＞						
児童と教職員で目指す姿を共有し、児童の考えを生かした取組を行ってきたことで、「自分たちで学校をよりよくしていこう」「自分で考え、自分から取り組みよう」「思いやりのある行動をとろう」という意識が高まってきている。うまくいったかどうかだけでなく、どんな結果からでも学びを見出し、次につなげていく力はまだ十分ではない。						
＜授業＞						
教材研究ノートを作成し、教科・単元のねらいや内容、系統性など「何を学ぶのか」を明確にした授業づくりを行っている。児童の実態をもとに単元の知識の構造図と問いの構造図を作成し、児童が自ら学習課題を見出し追究したり解決したりする学習過程を見通した単元づくりを行うことで、児童が意欲的に学習に取り組んでおり、一定の成果があった。学習内容を既習事項や日常生活と結びつけて考えたり捉え直したりし、生きて使える知識にしていこうことには課題が残る。						

研究	教科等	社会科・生活科	
	主題・内容等	主体的に課題を追究し、共に高まる児童の育成 ～学びの伸びを実感し、豊かに表現できる授業づくり～ ①教科・単元のねらいや内容、系統性を明確にした単元づくり ②児童が主体的に学習する（自分で～する）場の設定 ③個に応じた多様な表現方法を活用して考え合う場の設定 ④既習事項や日常生活と結びつけて考えたり捉え直したりする場の設定 ⑤学びの伸びを実感できる振り返り	
めざす授業の姿		児童が自ら課題を発見し、見通しをもって学習に取り組み、友達と意見を交流しながら考えを深めて課題解決をし、自分の学びを実感することができる授業	

Ⅳ 目標・取組及び評価指標等の設定と評価

福山市立金江小学校

年 目	中期経営 目標	重 点	分 類	短期経営目 標	目標達成に 向けた取組	評価指標	中間評価(10月1日)				最終評価(2月末)				
							□指標に係る 取組状況	力付 評価	達成 評価	改善方策	□指標に係る 取組状況 ◎短期(中期)経営目標の 達成状況	力付 評価	達成 評価	総合 評価	改善方策
3	「主体的な 学び」の授 業づくりを 進めて、学 ぶ意欲と学 力を向上さ せる。	★	継続	主体的、協働 的に学べ ることが できる授 業づくり を行い、学 力を向上 させる。	・教科・単元のねらい や内容、系統性を明 確にし、児童が主体 的に学習する場、共 に考え合う場、学習 したことを結びつ けて振り返る場を 設定した授業を一 人一回以上提案し、 検証する。	・「自分で考え、自分から取り 組んでいる」「友達の考えを 聞いたり話し合ったりして 学びを深めている」児童 85%以上 ・「学習したことを見直し、前 に学習したことや生活と結 びつけて考えている」児童 80%以上									
			継続	読書活動に 積極的に取 り組む児童 を育成する。	・校区や校内でおす めの本をロイロ ノート等で紹介し 合う。 ・学校図書館運営協 議会を機能させ るとともに、図書委員 会の取組を充実さ せる。	・伝記、物語など文章が主 体となる本を学期に5冊 以上読む児童 85%以上 ・図書委員会で、学期に1 回以上学校図書館に行き たいと思ってもらえるよ うな取組を行う。									
3	教職員の資 質・能力の 向上を図 る。		継続	研修に主体 的に参加し、 子どもの学 びを促す授 業力を向上 させる。	・教材研究と児童理 解に基づいた授業 を行い、教材研究 日に互いの実践や 児童のノートを交 流し合う。	・教材研究を進め、教材研究ノ ートを作成し、実践し、改善 につなげている教職員 100% ・研修で学んだことを、自らの 授業づくりに生かしている 教職員100%									
3	児童の自己 肯定感を高 める。		継続	生活習慣を 確立し、自分 から進んで 行動する児 童を育成す る。	・「あいさつ」「思い やり」に全校で取り 組む。 ・児童主体の学校行 事、係活動、委員会 活動を充実させる。	・毎週の振り返りで「自分か らあいさつができた」「思い やりのある行動がとれた」 児童85%以上 ・「活動を通して自分が成長 したと感じる」児童85%以 上									

[プロセス評価の評価基準]		[達成評価の評価基準]		[総合評価の評価基準]		
評点	評価基準	評点	評価基準	評点	評価基準	
5	取組の目的に対する共通理解が顕著に認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決が十分に図られた。	5	目標を大幅に達成し、十分な成果をあげた。	5	100%以上の達成度	十分に目標を達成できた。
4	取組の目的に対する共通理解が認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決が概ね図られた。	4	目標を概ね達成し、望ましい成果をあげた。	4	80%以上100%未満の達成度	概ね目標を達成できた。
3	取組の目的に対する共通理解が一定程度認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決がある程度図られた。	3	目標をある程度達成し、一定の成果をあげた。	3	60%以上80%未満の達成度	ある程度目標を達成できた。
2	取組の目的に対する共通理解が認められ難く、状況の変化、問題が生じた際の協同的な課題解決があまり図られなかった。	2	目標を下回り、成果よりも課題が多かった。	2	40%以上60%未満の達成度	あまり目標を達成できなかった。
1	取組の目的に対する共通理解が認められず、状況の変化、問題が生じた際の協同的な課題解決が図られなかった。	1	目標を大きく下回り、成果が認められなかった。	1	40%未満の達成度	目標を達成できなかった。